

令和5年度
自己評価報告書

日本指圧専門学校

1. 教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	指圧師に必要な知識、技能を修得させ、広く社会貢献しうる有為な人材を養成することを目的とし、教職員、学生、関係者に周知徹底している。
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	必須であるあん摩マッサージ指圧師免許の取得に向けて指導体制を整えている。現役学生への担任による学習サポート体制や既卒者への学習支援制度も整えている。 また、新施設で臨床実習を行い、一層の充実を図る。
3	学校の理念・育成人材像等が学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	これらは学校の基本事項であり、ホームページ、学校案内、オープンキャンパス、個別相談会等を通じて周知に努めている。
4	特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	学科認定は「指圧科」のみである。指圧という日本独自の手技の中でも、浪越指圧の技術修得と伝承、発展を期し、教育課程を編成している。

2. 学校運営

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	理念に沿った運営方針が策定されているか	3	変化が激しい社会、経済情勢の中、短期的には理念に沿った運営方針を策定している。中長期的な視野に立った運営方針をより明確にしたい。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	運営方針に基づいて年度毎に年次事業計画を作成している。毎年3月末までに策定し、教職員に周知している。
3	学校運営のための組織と意思決定システムは整備されているか	4	学校運営方針等に関しては、理事長、校長、教務課長、治療部院長、事務長等で構成される運営委員会にて組織意思の判断を行っている。 各部門の意思決定には、定期的に開催される教務事務会において各種情報の伝達、協議を行っている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	人事・給与等に関しては勤務規則、給与規定を定めて運用している。
5	コンプライアンス体制は整備されているか	4	法令遵守は当然の責務である。コンプライアンス委員会を設置し、定期的に教職員に対して研修を行っている。
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	教職員個々に配置されたPCは校内情報管理サーバシステムにより、データの共有化、業務の効率化を図っている。また、ウイルス対策等の適切な情報管理を行っている。

3. 教育活動

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程を編成・実施している。あん摩マッサージ指圧師として臨床現場において必要とされる内容に関して、教育課程編成委員会や学校関係者等の意見を取り入れ、毎年改善を図っている。
2	学科の修業年限に応じた教育到達レベルは明確にされているか	4	学則に定める教育課程等において教育目標を示している。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムについては、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則」（以下「認定規則」という。）に準拠して体系的に編成している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	臨床実習において実習機会を増やし、職業教育の充実を図っている。日々の技術向上を目的として修練会、あん摩マッサージ練習会、トレーナー活動、海外交流、外部講師の招聘等、教育方法の工夫・開発を実施している。
5	教育課程について、外部の意見が反映されているか	4	教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会等を通じて、卒業生や業界関係者等から情報を収集し、教育課程の改善に繋げている。介護技術、訪問マッサージに関する授業を組み込んだ。
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3	現時点では、体系的に位置づけられた産学連携によるインターシップは行っていない。学生数に対して学生受入企業数が不十分であり、実施が困難な状態である。 業界関係者からの意見を反映させた実技・実習を実施するよう改善を図っている。
7	授業評価が実施されているか	4	全科目を対象とした学生による授業評価アンケートを実施している。評価結果は理事長、校長、教務課長で確認し、各専任教員にフィードバックしている。
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	成績評価・単位認定基準は学則及び教務規則に定めがあり、全学生に配布している。進級・卒業判定基準も同様である。
9	免許取得に関する指導体制はあるか	4	あん摩マッサージ指圧師免許の取得は本校入学の主目的である。卒業時に国家試験受験となるため、教育期間の全ての科目が免許取得に向けた指導体制となっている。 また、学生個別に習熟度を理解するため、6回の模擬試験を行っている。学生個々の状況に応じて、クラス担任による個別指導・相談ができる体制を整えている。
10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	認定規則及び指導要領に則して定められた要件を備えた教員を必要人数以上採用している。
11	教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	あん摩マッサージ指圧師関係業界内外の情報や課題を認識するために、東洋療法学校協会、東京都各種学校専修学校協会等が主催する研修等への参加を促している。 また、授業評価アンケート結果のフィードバックにより、各教員の授業改善に活用されている。
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	各職員の業務に応じ、東京都各種学校専修学校協会等が主催する研修等への参加を促している。

4. 学修成果

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	就職率の向上が図られているか	4	企業からの求人情報は掲示板に掲示及び資料をファイルし、学生が自由に閲覧できるようにしている。また、合同企業説明会を年3回実施し、就職率向上を図った。
2	免許取得率の向上が図られているか	4	あん摩マッサージ指圧師免許の取得は本校入学の主目的である。学生個別に習熟度を理解するため、6回の模擬試験を行っている。学生個々の状況に応じて、クラス担任による個別指導・相談ができる体制を整えている。 既卒者に関しては国家試験合格率が低くなってしまうのが現状である。聴講の受入等を通じて免許取得のサポートを行っている。
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	3	卒業生の就業情報は卒業後数か月は、アンケート調査や担任との情報交換により概ね把握している。その後の就業状況に関しては、他社、他院へ転職、独立開業等で異動が多く、追跡が難しい。 社会的評価については、就職先企業等から直接話を聞くことが望ましいが、現状は全ての就職先企業からの評価を聞くことはできていない。

5. 学生支援

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	就職等進路に関する支援体制は整備されているか	4	学生の就職に関する情報収集を目的として、求人情報の閲覧と年3回の合同企業説明会を実施している。また、各教員が適宜、就職を含む進路相談を行っている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	学生の学業維持のため、修学相談に留まらず、身体的・心理的な不調、私生活に関わる内容にまで及ぶことも少なくない。担任、他教員、校長、課長、事務員も相談を受けている。また、希望者は臨床心理士からのカウンセリングを受けられる体制を整えている。
3	退学率の低減が図られているか	3	退学する要因として経済的事由、身体的事由、学業困難、学習内容がイメージしていたものと違う等、多岐に亘っているため、全てを回避するのは難しい。 教員だけでなく、事務職員も学生との対話機会を増やすため、積極的に声かけを実施している。また、入学前相談時には学習内容を説明している。
4	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	授業料の延分納に対する個別相談、高等教育修学支援制度、専門実践教育訓練給付制度、医療系免許者の授業料減免制度等を整備している。
5	学生の健康管理を行う体制は整備されているか	4	学校保健安全法に則り、毎年4月に学生全員の健康診断を実施している。体調急変に備え、保健室を設置している。

6	学生寮の設置など生活環境への支援は行われているか	2	学生寮の設置は行っていない。遠方からの入学が決まり、住環境に不安のある学生へは、個別に地域情報等のアドバイスを提供している。
7	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	課外活動は、指圧研究会、指圧修練会、あん摩マッサージ部、スポーツ指圧トレーナーコース、野球部、指圧連、英会話部、トレーニング部があり、継続して支援を行っている。
8	保護者と適切に連携しているか	3	本校において高校新卒者の割合は1割程度である。この新卒者と遠方の道府県からの比較的若い学生については、保護者との連携を重視し、就業状況、学費納入等の連絡を密に行っている。
9	卒業生への支援体制はあるか	4	課外活動の指圧修練会、あん摩マッサージ部等は卒業生も参加できる。また、日本指圧専門学校同窓会との連携は密に行っており、総会や研修会には本校校舎を利用している。また、同窓会では賠償責任保険の取扱企業と提携し、毎年多数の卒業生が加入している。
10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	本校は社会人経験者の入学が多い。特に夜間部はほとんどの学生が就業したまま通学している。社会人には専門実践教育訓練給付制度の対象者も多く、公的支援を受けられるよう情報提供している。また、授業時間外の図書室の開放や、課外活動も行っている。
11	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3	本校同窓会や一般社団法人日本指圧協会と連絡を密にし、実施される研修会・講習会には本校校舎を利用し、参加促進を図っている。また、在校生の参加も可能であり、卒業後の参加促進に繋がっている。

6. 教育環境

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	法令に則り、施設・設備を整備している。本年度は、本校舎の建替に伴い、一部校内施設の使用が制限されたが、次年度は新しい校舎完成により改善できるものと思われる。
2	学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	校内の実習施設に関しては、適した環境にするため、校舎の改装を行った。 インターンシップは受入先企業を増やす必要があり、情報提供を行っている。 海外研修については、カナダでワーキングホリデービザを利用したプログラムがある。ハワイ大学医学部解剖実習はコロナ感染症拡大後行っていない。現地の物価上昇もあり、再開の予定は立てられない状況である。
3	防災に対する体制は整備されているか	4	年1回の避難訓練では避難経路の確認を行っている。また、防災備蓄物資を貯蔵している。

7. 学生の募集と受入れ

評価項目		適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	学生募集活動は適切に行われているか	4	東京都専修学校各種学校協会の指針に沿った入試日程を組んでいる。広報に関しては、HPを中心として、各種SNSの利用、パンフレットの送付、相談会・オープンキャンパス等を実施している。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	資格取得率と就職状況は、受験希望者にとって重要な情報であり、積極的に伝えている。
3	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	学生納付金については、他の医療系専門学校の金額と比較して妥当なものと考えている。

8. 財 務

評価項目		適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	中長期的に財政基盤を安定させるため、2棟の校舎を1棟に纏めた。本年度は校舎建築費用を計上し、収支計算書ではマイナスであった。 財政の安定化を図るため、学生数を増やす方策を検討していく。
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画については、毎年度、定例の評議員会、理事会において慎重に審議している。
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	財務についての会計監査は、会計専門家と学識経験者により厳正に実施され、定例理事会にて報告されている。
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務に関する資料は本校のホームページにおいて情報公開している。

9. 法令等の遵守

評価項目		適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	本校は、学校法人として文部科学省の、またあん摩マッサージ指圧師養成施設として厚生労働省のそれぞれの省より規制、指導を受けている。法令遵守と共に適正運営が実現している。
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策がとられているか	4	学生、受験生及び教職員の学校が保有する個人情報については、個人情報の保護に関する法律等により慎重な取り扱いと保護を期している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	年度毎に自己評価表を作成し、学校関係者評価委員会において評価している。また、評価を通じて指摘された課題や問題点を改善する指標としている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	自己評価表は本校ホームページ上で情報公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	臨床実習による地域住民への施術、地元イベントへの協力、町会・商店街加盟など広範囲に亘り、社会貢献・地域貢献を行っている。
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	従来、地元催事におけるボランティア施術、地域介護施設への慰問・施術など様々なボランティア活動を奨励・支援してきた。コロナ感染拡大による影響でボランティア活動の機会が減っている。 また、学園祭において地域交流として指圧体験を行った。
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	本校の医療専門課程指圧科（昼間部）は専門実践教育訓練給付金及び専門実践訓練支援給付金の指定講座であり、また、医療専門課程指圧科（夜間部）は専門実践教育訓練給付金の指定講座となっている。
4	国際交流に取り組んでいるか	3	浪越指圧への認知を国際的に高めるためにも、国際交流は積極的に行ってきた。次年度移行、海外からの指圧講習会依頼の受諾や技術指導の実施等の交流の機会を増やすよう、推移を見守っていく。